

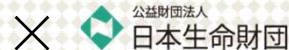
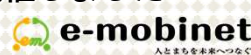
『運転する人も、しない人も、皆んなで高齢者のおでかけを考えよう！』

～ 「高齢者の外出・移動を地域で支える」セミナーを開催しました ～

去る9月28日（土）、高齢者を対象とした「高齢者おでかけ講習会」を、地域団体の協力により開催しました。

昨今の高齢者の関心時の一つである、「マイカーの運転」「免許返納」「返納後の対応」をテーマとした初めての企画で、交通事故防止、身体機能の維持、地域で支えるルールや仕組みづくり、といった幅広い視点から専門家による講話をいただいたあと、高齢者の外出・移動について、地域住民、民生委員、福祉関係者など参加者が意見交換を行いました。

特に、熊本県警から益城町に出向されている山田さんや、PT（理学療法士）でもあられる地域包括支援センターの太田さんによる講話はとても分かり易く、参加者からは「ぜひ定期的に開催してほしい」との声もきかれました。



【開催概要】

- ◆ 令和1年9月28日（土）
10時～11時30分
- ◆ 益城町公民館津森分館

◆ 内容

- ・高齢者ドライバーの事故防止に向けて
- ・安全運転に役立つ体操のご紹介
- ・安全・安心な「おでかけ」のために

◆ 主催 NPO法人イーモビネット

◆ 共催 益城町東部圏域地域包括支援センター

◆ 協力 益城町高齢者おでかけ支援連絡協議会

スタッフ・協力団体の皆さま



【講話1】高齢者ドライバーの事故防止に向けて
【益城町役場 危機管理課 課長補佐 山田 一生 氏】



【講話2】安全運転に役立つ体操のご紹介
【益城町東部圏域地域包括支援センター ころねっと センター長（生活支援コーディネーター） 太田 研典 氏】



【講話3】安全・安心な「おでかけ」のために
【NPO法人イーモビネット 代表理事 鶴岡 良一】

01

トヨタ・モビリティ基金助成事業「うみらくプロジェクト」 海上タクシーシェアリングサービスいよいよスタート！



去る7月27日（土）、天草市の中心部、本渡で開催される大花火大会に合わせて、離島の御所浦から会場近くの本渡港まで、海上タクシーをチャーターし、御所浦の親子連れなどをご招待するモニターツアーを実施しました。



海上タクシーで移動する参加者
（御所浦島⇄天草市本渡港）



イベント終了後、島に戻るため
夜の海上タクシーに乗り込む
ツアー参加者「楽しかった～」



天草市本渡町で行われた大花火
大会を観戦する島の子供たち



私たちが普段、親子で気軽に楽しめるこのような地域の夜のお祭りやイベント。しかし夜の定期船が走っていない離島の人たちにとっては、とてもハードルが高い事なのです。そういう意味でも今回のツアー、島の親子連れも大満足だったようです。

トヨタ・モビリティ基金支援「うみらく」プロジェクトのオペレーション確認を兼ねた今回のモニター企画。

今回は募集ツアーとしての実施でしたが、今後は、行きたい人を束ねて乗り合いを促す仕組みやシステムを構築し、陸上交通とスムーズに繋ぐ、「海上版MaaS※」の仕組みを構築していきます。

※MaaS：Mobility as a Service：様々な交通手段を情報技術で繋ぎ、利用者のスムーズな移動を可能とするサービス

「はじめまして、イーモビネットの小林です。よろしくお願いします！」

～ 経済産業省から、国家公務員の兼業許可により、NPO活動に参加します ～



NPO法人
イーモビネット
プロジェクト
マネージャー
小林 直貴 (32才)
経済産業省 勤務
(大臣官房グローバル
産業室 室長補佐)

はじめまして、イーモビネットの小林と申します。

私は東京で国家公務員をしているのですが、国の兼業規制が緩和されたこともあり、9月から活動に加わりました。今後は東京での活動に加え、月に1回程度は週末に益城町に来て、活動を支援していきたいと思っております。よろしくお願いします！（ちなみに出身地は大分・湯布院です）

9月からの活動について、感想も含めご報告をさせていただきます。

【報告1】津森高齢者おでかけ講習会（9月28日）

益城町津森地区の方を中心に、30名弱のご参加をいただきまして、高齢者ドライバー問題、安全運転に役立つ体操の講座に加えて、今後の「どこいこカーましき」の活動についての報告をしました。（町役場の山田課長補佐、東部圏域地域包括支援センターの太田センター長ありがとうございました！）。

私の祖母も84歳ながらまだ実家でぎりぎり運転を続けていますし、私自身も一人のドライバーですので気づきの点が多く、個人的にも大変参考になりました。こういった活動を他の地域で続けていければと思っています。（詳細は表面のトップ記事参照）

【報告2】益城町高齢者お出かけ支援連絡協議会（10月11日）

「どこいこカーましき」を支援いただいている、県、町役場、社会福祉協議会、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターの方々と、今後の運行エリアの拡大や、シニアドライブサポーターの確保、コミュニケーションツールの導入など、今後の取組の方向性について、議論をしました。

私も東京では、将来のモビリティと地域の在り方に関しての業務に携わっていますが、実際のリアルな課題とそのための解決策を議論して、いかに普段は頭でっかちに議論をしているんだということも実感しました。利用者・ドライバー・地域の皆様にとってより良い運営方法になるように、そして最後は自立した取組となるように、色々と試行錯誤を続けていきたいと思っています。



会議後に津森仮設団地を訪問
(中央) 小林マネージャー
(右) 鶴岡代表理事
(左) シニアドライブ
サポーター川北さん

【報告3】住民主体の移動・外出支援の活動報告会（10月12日）

熊本県高齢者障害者生活協同組合（ふくし生協）さんとの共催で開催しました。



活動報告会の様子
(熊本市のホテルテルサ熊本)

移動支援を行っている県内の他の団体の皆様からの活動の紹介に加え、損保ジャパン様からは、移動サービスに対応した新たな保険サービスの紹介を頂きました。

私自身、これほど地域の皆様主体で移動サービスが行われているということは知りませんでしたし、逆にそれは地域の移動課題を皆様感じて「なんとかせんといけん！」という思いの裏返しだと思います。

これからの人口減少社会の中で「地域の皆様発」のこれらの動きをどう持続可能なものにしていくか、私も公務員として、NPO職員として、考えてきたいです。

小林 直貴 (NPO法人イーモビネット
プロジェクトマネージャー)

「トヨタ・モビリティ基金」 による御所浦島の視察

去る8月8日（木）、助成事業をご指導いただいている、（一社）グローバル交流推進機構の土井理事長、田中研究員をお招きして、今年2回目となる、現地視察会を開催しました。

天草市御所浦支所との意見交換、横浦島の視察などを行ったあと、夜は「しまおこし隊」の皆さんを交えたワークショップを開催し、地域の移動・交通問題について理解を深め合いました。



現地視察・意見交換
(天草市役所御所浦支所)

自動車まつり in 熊本 に 出展しました

去る10月19日（土）、熊本運輸支局で開催された「自動車まつり」に、昨年に引き続き参加しました。今回も、アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置「ワンペダル」のデモ機展示と体験会を、ナルセ機材さんと協働で実施。昨今の高齢者ドライバー事故のニュースもあってか、例年以上に多くの方に、「ワンペダル」を体感いただきました。



「ワンペダル」デモ機体験会
(熊本市東区の熊本運輸支局)